

校友会活動ビジョン

ビジョン

未来を生みだす、立命のきずな。
応援しよう、個のかがやきを。

行動指針

未来を信じ挑戦し、自らのボーダーを超える。
多様性を認め、楽しく相互に成長できるつながりをつくる。
循環型支援の立命文化を創る。
グローバルシチズンとして、広く社会に貢献する。
立命人としての誇りを持ち、大学の価値向上に寄与する。

立命館大学校友会は、設立100周年を機に「校友会活動ビジョン」を策定しました。
私たちはこのビジョンのもと、校友や学生一人ひとりのチャレンジを応援し、
立命館のきずなを未来につなげていきます。

りつめい

No.297 / 2025年8月号

発行所／立命館大学校友会／年3回発行
発行人／門川大作
編集人／山岡祐子
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
Tel.075(813)8216 Fax.075(813)8217
URL:<https://alumni.ritsumei.jp/>
E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp



▲ご連絡先の
変更はこちらから

りつめい

立命館大学校友会報

学祖

輝くひと
西園寺 公望

創立者

中川 小十郎



| 卷頭特集 |

原点から、 次の挑戦へ

立命館創始155年・
学園創立125周年

Futurize. 125
RITSUMEIKAN ANNIVERSARY

若き西園寺が
京都御所の邸内に開設した、
私塾「立命館」が
すべての始まりに。

西園寺公望が1869年に開設した私塾「立命館」は、京都の低迷した教育状況を背景に、一般人も入塾できる新しい形の私塾を作ろうという志から始まりました。講師には朱子学者や儒者、文章家など多彩な分野の著名人を迎えて、開かれた教育の場を提供しました。「立命」という名前は、孟子の言葉に由来し、人の本分を全うするために修養(勉強)に努めることを意味しています。この精神は、立命館学園の礎となり、後の立命館大学へと受け継がれました。



学祖
さいおんじ きんもち
西園寺 公望

■ PROFILE

第12・14代内閣総理大臣、「最後の元老」として知られる。1869年に20歳の若さで私塾「立命館」を開設後、フランス・パリに留学。1906年、内閣総理大臣として第1次西園寺内閣を組閣。以後、桂太郎と交代で政権を担当して桂園時代と呼ばれた。教育に対する先見の明に長けており、当時から科学、英語、女子教育などの重要性を説いた。

輝くひと
127

西園寺の精神を
受け継いだ中川が、
立命館大学の前身、
京都法政学校を創立。

中川小十郎は、西園寺のもとで文部官僚としてのキャリアを積みましたが、政権交代によって退職を余儀なくされました。その後実業家に転身しましたが、働く青年たちの実情を見て、自分が文部省時代に設置してきた官立学校の不備を実感します。1900年、教育の機会均等を私立学校が担うべく、新たに創立したのが立命館大学の前身である私立京都法政学校でした。働きながら学べるように講義は夜間に開かれていました。学問の自由と機会均等を重んじる姿勢は今も受け継がれています。



創立者
なかがわ こじゅうろう
中川 小十郎

■ PROFILE

帝国大学法科大学政治学科(現:東京大学法学院)を卒業後、文部省(現:文部科学省)へ入省。京都帝国大学(現:京都大学)の創立に参加し、初代事務局長、日本女子大学校(現:日本女子大学)創立事務幹事長などを歴任。1900年、私立京都法政学校(現:立命館大学)を創立。1931年、立命館初代総長に就任。今日にも受け継がれる建学の精神「自由と清新」の学風を生み出した。

立命館大学校友会報

りつめい AUGUST 2025
No.297

03 卷頭特集

原点から、次の挑戦へ

立命館創始155年・学園創立125周年

- 02 輝くひと
学祖
西園寺 公望
- 創立者
中川 小十郎
- 04 立命館の源流
- 06 挑戦する立命館

- 12 RITSUMEI INTERVIEW
元・文部科学事務次官
柳 孝さん
- 16 立命館創始155年・
学園創立125周年
記念式典・記念イベント
- 18 オール立命館校友の集い2025

- 20 2025年度
立命館大学校友会幹事会報告
- 21 校友会未来人財育成基金
- 22 つながる、ひろがる 校友会
～校友会ネットワーク～
- 24 MIRAIアーカイブス
- 25 学生の活躍
- 28 キャンバストピックス
- 30 INFORMATION
編集室から
- 31 海外向けデジタル版移行案内/
国際平和ミュージアム案内

Present

アンケートにご協力いただ
いた方に抽選でプレゼント
をお贈ります!



掲載内容は2025年6月時点のものです。(一部特記箇所を除く)
デザイン・ディライツ広告事務所

| 卷頭特集 |

原点から、 次の挑戦へ

立命館創始155年・
学園創立125周年

2025年、立命館創始155年・学園創立125周年を迎えた。

以来今日まで、学祖・創立者の精神を受け継ぎ、
常に新しい挑戦を繰り返しながら、立命館は成長を遂げてきた。
今号では、そうした立命館の原点を改めて確認し、
そこからさらなる未来を見据え、
在学中、そして卒業後も新しいことに挑み続けている校友を紹介する。

写真：1954年の広小路キャンパス



立命館の源流

西園寺公望と中川小十郎、
二人が信じた新時代を拓く教育の力

今年、立命館創立155年・学園創立125周年を迎えた。

この機に、立命館がどのように生まれ、

今日の姿に至ったのか、

歴史を遡ってその源流をたどった。

そこからは、立命館の礎を築いた二人の偉人・

西園寺公望と中川小十郎の

教育に懸けた熱い思いが見えてきた。



西園寺公望(1894年 文部大臣就任時)



中川小十郎(1897年 文部省参事官時)

西園寺公望：明治維新の俊英が抱いた 「教育こそ国家の礎」という確信

1849年、公家の名門に生まれた西園寺公望は、若くして明治維新の激流に身を投じました。わずか18歳で新政府の要職に就き、戊辰戦争ではその卓越した洞察力で「天下の大業」を見抜き、正面から戦うことを唱え、岩倉具視から高く評価されました。

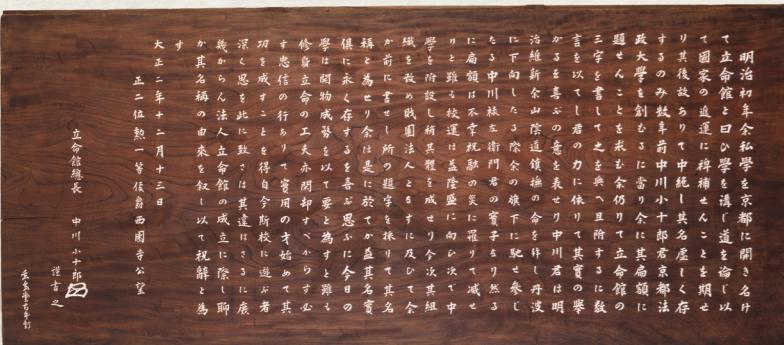
戊辰戦争後の1869年9月、西園寺は、来たる新たな社会に対応できるよう教育によって公家の家塾を変えていくと、御所の自邸に私塾「立命館」を開設します。しかし依然として伝統的保守派が勢力を保つ中、西園寺の教育への思いは容易には理解されませんでした。「立命館」で学ぶ学生たちが、自由闊達に議論する姿を「危険」と見なした当時の太政官留守官の命令によって、翌年「立命館」は閉校へと追い込まれてしまいます。西園寺は、失意のうちにフランスへ留学することになりました。

1871年、西園寺が到着したパリは、パリ・コミューンのただ中にありました。その混乱ぶりに衝撃を受けた西園寺は、理性ある民衆の育成に強い関心を抱きます。欧米にならい、文

明開化と近代化を進めていくとしている日本において、知性と教養の高い国民を育成するため、教育の重要性を強く認識。これが、西園寺の教育思想の原点となりました。多様な知識の習得、闊達な意見の交換を通じて、国民の活力を高め、國家の力とする「自由主義」こそが、日本の将来にとって必要だと考えていた西園寺。留学中に出会い、後に京都帝国大学初代総長を務めることになる木下廣次とは、「社会の上層部だけでなく、その下にいる『中等』の人々、すなわち庶民への教育が重要である」という認識を共有していました。その思いは、後に立命館大学の前身となる私立京都法政学校を創立する中川小十郎へと受け継がれました。

中川小十郎：「庶民教育」の理念を受け継ぎ、立命館へと結実

1894年に文部大臣に就任し、近代日本の教育制度を確立しようと奔走していた西園寺に、運命的な出会いが訪れます。それは、かつて戊辰戦争に従軍した際に臣下としてはせ参じた中川家の子息・中川小十郎でした。



立命館由来記



私立京都法政学校の校舎であった料亭「清輝樓」

成される中等社会こそが、国家の「富強」を左右すると考え、世界的知識を持つ実業家を育成する必要性を説きます。こうした中川の教育論は、西園寺の思想と強く共鳴するものでした。小学校を卒業した勤労青年も学べる中高等教育機関の必要性を痛感し、中川は中央政局から離れた京都の地に私立学校の創立を目指します。そして1900年に創立したのが、立命館大学の前身、私立京都法政学校でした。夜間に講義を行い、京都帝国大学の教授陣が教鞭を執るこの学校は、働きながら一流の講義を受けられる場として、多くの若者を集めました。こうして西園寺の教育思想を中川が具現化し、立命館の礎が築かれました。

西園寺と中川の教育理念が込められた 「立命館」が復活

1905年、中川は西園寺に、かつて西園寺が創設し、やむなく閉校した私塾「立命館」の名称継承を願い出て、その許諾を得ます。西園寺は「立命館」の名が復活することを心から喜び、自筆の扁額を贈るとともに、実弟の末弘威麿を会計庶務幹事として送り込むなど、草創期の立命館を物心両面で支えました。

1913年、私立立命館大学に改称。さらに1922年、それまで専門学校に位置づけられていた私立立命館大学は、大学に昇格を果たします。その際、昇格の条件の一つとして、図書の充実が求められました。教育・学問における読書の重要性を強く意識していた西園寺が、ここでも手を差し伸べます。西園寺から提供された蔵書が、立命館の学問発展の基礎となりました。

西園寺が抱いた「教育こそ国家の礎」という確信、そして中川がその理念を受け継ぎ「庶民教育」として具現化した情熱。この二人の搖るぎない志が、125年の時を経て、現在の立命館に脈々と受け継がれています。



扁額「立命館」

Information

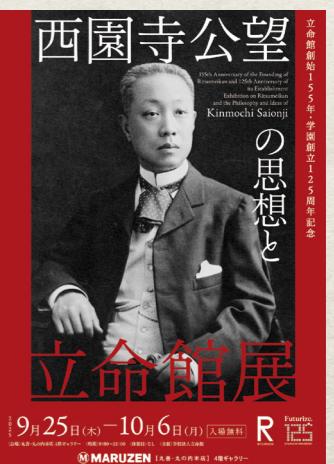
西園寺公望の思想と立命館展

西園寺が生涯を通じてどのような国家造りを目指したのか、そしてその理想の国家を実現するために、国民とどのように向き合ったのか——。西園寺の教育思想をひもときます。

会期：2025年9月25日(木)～10月6日(月) 会場：丸善・丸の内本店 4階ギャラリー

住所：〒100-8203 東京都千代田区丸の内1-6-4 丸の内オアゾ内

時間：9:00～21:00 休館日：なし



9月25日(木)～10月6日(月) 丸善・丸の内本店 4階ギャラリー
MARUZEN (丸善・丸の内オアゾ内)

立命館創立155年・学園創立125周年記念
西園寺公望
の思想と

立命館展

AUGUST 2025 イフミー 5



挑戦する立命館

創始155年・創立125周年 特別対談

学校法人立命館

理事長 森島 朋三



学校法人立命館

総長 仲谷 善雄

立命館学園は今年、立命館創始155年・学園創立125周年を迎えました。

歴史と伝統をどのように受け継いできたのか、また立命館の現在の立ち位置とこれからについて、

学校法人立命館の森島朋三理事長と仲谷善雄総長が語り合いました。

——私学立命館のこれまでと現在

森島理事長（以下、理事長） 立命館の起源は、学祖・西園寺公望が1869（明治2）年に創設した私塾「立命館」であり、日本の私立総合学園の中でも、ひときわ長い歴史と伝統を持っています。「自由と清新」を建学の精神、「平和と民主主義」を教学理念に掲げ、現在では2大学、4附属高等学校、4附属中学校、1附属小学校に、学生・生徒・児童約5万名を擁する私立総合学園に発展しています。

仲谷総長（以下、総長） 建学の精神と教学理念は、立命館教学の根幹を成すものであり、今私たちが掲げる学園ビジョ

ン「R2030 チャレンジ・デザイン」は、それらを現在の社会に適合させ、再定義したものといえます。「R2030」では、次世代研究大学として創発性人材を生み出すことを重点目標に掲げ、小・中・高・大・院一貫でこれを推進しています。

理事長 時代が求める新しい価値を創造する「探究型人材」を育成するためには、まず高い研究力を有する組織をつくる必要があります。その結果、教育の質も高めることができるという信念の下、改革を断行してきました。

総長 次世代研究大学は一朝一夕で成し得るものではありません。従来の常識や既存の枠組みを超るために、本学はさまざまな取り組みを進めてきました。例えば2008年に設立し

た「立命館グローバルイノベーション研究機構(R-GIRO)」では、学部や文理の壁を超えた組織をつくり、共同研究を推進しています。また「Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA)」では、世界に通用する若手研究者を育成する事業にも取り組んでいます。その成果として、令和6年度の科学研究費助成事業(科研費)の配分において、西日本私立大学1位、全国私立大学4位となるなど、私学でありながら、研究力の高い大学として社会的評価を獲得しています。

——立命館の未来と展望

理事長 未来を考えるにあたって重要なのは、大学が「学生のためのもの」であると同時に、「社会に貢献するためにある」という意識、つまり「大学の社会化を推進する」というコンセプトを持つことです。その象徴となるのが、2015年に開設した大阪いばらきキャンパス(OIC)です。いまやOICは、「社会共創」をテーマに大学と社会をつなぐ一大プラットフォームとなっています。さらに2026年には、衣笠キャンパスにデザイン・アート学部（仮称）、デザイン・アート学研究科（仮称）※の設置を構想しています。これにより、科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、数学(Mathematics)、そして芸術(Art)の5要素を満たす「STEAM教育」を推進する大学となり、学園全体で教育・研究・社会貢献・人材育成の新たな価値創出に取り組んでいくつもりです。

総長 その他にも、研究力強化の取り組みを多様に行ってています。その一つが、2023年に立ち上げた「立命館大学宇宙地球探査研究センター(ESEC)」で、月・惑星における人類の生存圏拡張と、探査拠点となる宇宙開発・インフラ構築に取り組んでいます。また2025年、びわこ・くさつキャンパスに、ウェルビーイングの推進を目指す「先端クロスバースイノベーションコモンズ(CVIC、仮称)」と、研究成果をベンチャーとして育成していく拠点「グラスルーツ・イノベーションセンター(GIC、仮称)」を開設します。これらを拠点に研究の質を高め、社会共



生価値を創出する次世代研究大学の実現を目指します。

理事長 良い大学に入って、良い企業に入ることが成功モデルとされてきた時代は、もはや終わりました。立命館は、多様で創造的なモデルを構築し、社会にインパクトを与える創発性人材を輩出していきたいと考えます。

総長 「学園ビジョンR2030」で掲げた「挑戦をもっと自由に」というビジョンワードには、「失敗をもっと自由に」というメッセージも含まれます。挑戦と失敗は表裏一体で、たとえ失敗しても、そこから得た経験にこそ学びがあり、成功の源があります。失敗を恐れず、まずは「挑戦してみよう」というマインドセットを学園全体に浸透させていきたいと考えています。

——校友の皆さまへのメッセージをお願いします

理事長 立命館大学は、自主性を重んじ、学問はもとより課外自主活動など、あらゆる場面で学生主体の方針を貫いています。多様な活動に主体的に参加することが、自立を促し、世界で自主性を発揮することにつながるという確信が、私にはあります。校友の皆さまには、ぜひさまざまななかたちでそうした学生の挑戦を支え、励ましてほしいと思っています。校友の皆さまのご支援で成り立っている校友会未来人財育成基金もその一つです。本基金は、学部や研究科を超えて挑戦する学生の自主的な活動を支えています。その想いに共感する支援の輪も、着実に広がっています。

総長 私はかねてより「人は育てるのではなく育つものだ」という考えを持っています。その人が持つ可能性を引き出すための刺激的な環境を用意し、挑戦を支援することが教育・研究組織の役割です。これからもワクワクするような環境をつくりていきますので、学生がそれらをフル活用できるよう応援してほしいと思います。これからも未来に向かって羽ばたく学生を支えていただけたら幸いです。



※2026年4月 設置構想中。設置計画は予定であり、内容は変更となる場合があります。

学祖・西園寺公望、創立者・中川小十郎の志を受け継ぎ、立命館は、時代のニーズを捉えながら、新たな取り組みを先導してきた。今回は大学発の先進的なプログラムを通じて学びを深め、社会で新たな価値を創造している2人の校友を紹介する。

10 代の頃、社会や経済の混乱を目の当たりにして「なぜ、こういうことが起こるのか」と疑問を抱き、公共政策に関心を持ったという野瀬光太郎さん。大学2回生の時、開講して2年目の大学独自の国家公務員養成プログラムである「立命館霞塾」を受講した。プログラムで、実際に公共政策に携わる方々と接し、その仕事の面白さを聞き、国家公務員への思いを強くした。何より大きかったのは、同じ志を持つ同期生との出会いだった。「学部もバックグラウンドも違いますが、公共政策への情熱や社会に対する強い問題意識を持っている仲間と議論し、刺激を受けました」と言う。そうした仲間とともにとことん考え抜いた日々が、国家行政に携わる今につながっている。

現在は、国際情勢が変化する中で日本の経済力を強化するために、政府と産業界の対話を推進するための仕組みづくりに尽力している。「自分の立場や多様な利害関係を超えて、ただ日本にとって何が必要か、何をすべきかをフラットな立場で考えることができる。それが、国家行政の仕事の魅力です」

とやりがいを語る。

仕事で重責を担う一方、「立命館霞塾」のアドバイザーとして、後輩の指導にも当たっている。「これからは、50年先、100年先を見据えて、この国に新しい方向性を見いだしていく力が求められます。その能力は、学生時代に深く考えることで育まれていくと私は信じています。後輩の皆さんに、そうした『考える』きっかけを与えられたら」と願いを明かす。「自分の疑問や関心をとことん突き詰めてほしい。そうした人が国家公務員を志してくれたら、それは、この国の未来にとって、素晴らしいことだと思います」と、熱い思いを後輩に託した。

PROFILE

新潟県出身。2回生の時、「立命館霞塾」を受講。4回生の時、国家公務員総合職試験合格。2017年、法学部卒業後、京都大学公共政策大学院に進学。2019年4月、経済産業省に入省し、産業政策やエネルギー政策などに従事。2023年から現職。



「立命館霞塾」についてはこちら▶

「立命館霞塾」で芽生えた
公共政策への情熱を
今も燃やし続けている

のせこうたろう
野瀬光太郎さん('17法)

経済産業省 課長補佐

経済産業省



**1期生としてUBC留学
挑戦のすべてが
今につながっている**

おおもり こういち
大森功一さん('95院国関)
世界銀行 東京事務所 上級対外関係担当官

「新 しいこと、イノベーティブなことに何でも挑戦できる環境がありました」と大学時代を振り返った大森功一さん。大学1回生の時、留学生をサポートする活動に参加したのが、海外との最初の接点。その後、イギリスのウォーリック大学での短期留学を経て、「もっと長期間、留学してみたい」との思いを強くした時、新たに始まったのが立命館・UBCジョイントプログラムだった。すぐに名乗りを上げ、プログラム1期生として、カナダのブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)に留学した。「多様な文化・宗教が入り混じる環境に身を置いて、『みんな多様で良い』と思えるようになりました」。この経験が、その後の人生を変えることになった。

多くの教員との出会いも大きかった。国際関係研究科に進学し、アメリカン大学大学院への留学を果たしたのも、教員の勧めがきっかけだった。「目の前にある面白そうなことにどんどん手を挙げて、片っ端から取り組みました。そのすべてが今につながっています」。

Information

立命館創立155年・学園創立125周年記念式典・記念イベント

2025年10月18日(土)10:00~/国立京都国際会館

「Bridge to the Future」内で「立命館霞塾」「UBCプログラム35周年」同窓会企画開催!

詳細はこちら▶



現在は、発展途上国への融資や技術支援を行う世界銀行で、広報に従事する。オープンマインドで人脈を築き、エネルギーに行動する姿勢は今も変わらない。「仕事で校友と出会うこともあります。立命館の先輩だと分かった途端、積極的に会いに行き、それが新たなプロジェクトにつながったことも。多様な分野で活躍する校友を頼もしく感じるとともに、自分も頑張らなければと、刺激を受けています」と言う。

立命館の後輩たちへも「行動しなければ、何も始まりません。まず一步踏み出してほしい」とエールを送った。

PROFILE

東京都出身。1993年、法学部卒業、1995年、国際関係研究科修士課程修了、アメリカン大学国際関係大学院修士課程修了後、立命館大学の研究所で歴史都市保存・開発プロジェクトに携わる。2000年、世界銀行に入行。東京事務所にてNGOや民間企業との連携構築を担当。2010年からワシントン本部で南アジア地域担当副総裁特別補佐官を務め、2015年から現職。

立命館・UBC GATE-EDIプログラムについてはこちら▶



未来につなぐための卒業式に

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、2019年度立命館大学卒業式・大学院学位授与式は中止となった。5年後の2025年、立命館創始155年・学園創立125周年記念式典・記念イベントに合わせ、リュニオン卒業式を開催する。企画・運営を務める「校友の集い実行委員」のメンバー3名に、卒業式に懸ける思いを聞いた。

〈写真右〉

おおくぼかい
大久保快さん('20経営)

株式会社I-ne ダイレクトマーケティング本部

〈写真左〉

まるやまゆうほ
丸山悠帆さん('20産社)

JCOM株式会社 人事部

〈写真中央〉

やすいたもか
安井朋香さん('20理工)

インターフェラテクノロジズ株式会社 開発部



—区切りをつけられなかったことが心残り

安井 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、卒業式が行われないと分かった時は、すごく悲しかったです。「はかまを着て、みんなで写真を撮ろう」と、友達と約束していたので、最後にみんなと会えなくて、寂しい思いをしました。

丸山 私も非常に楽しく、充実した学生生活を送ることができて良かったと思うからこそ、最後に区切りをつけられなかつたことが心残りでした。

大久保 同感です。大学に行けないまま卒業して働き始め、忘れた頃に実家に卒業証書が届いて。仕方がないと思いつつも、ずっと心にしこりがありました。

安井 送られてきた卒業証書に、「遅くなってしまって必ず卒業式をします」とコメントが添えられていて、もし実現したら、絶対に参加したいと期待していました。だから、本当にリュニオン卒業式の開催が決まり、実行委員に誘われた時は、「念願の卒

業式をこんなふうにしたい」と言える機会があるなら、ぜひ加わりたいと思いました。

丸山 私も5年越しで卒業を祝える機会に参加するだけでなく、1000人規模のビッグイベントの開催に携わり、さまざまな人と議論しながら企画をつくることに、ワクワクしました。

大久保 立命館大学に入っていなかったら、私はきっと今的人生を生きていませんでした。大学で学んだこと、出会った人がいたから、今がある。それだけ恩を受けたにもかかわらず、「何も還元できていないな」という気持ちがありました。とりわけ卒業して数年を経たからこそ、立命館に対する思いは、より強くなっています。実行委員を務めることは、恩返しの機会だと思っています。

—会いたい人に会える絶好の機会

丸山 参加してくれた同級生に、「5年越しの卒業式があつて良かった」と言ってもらえるようなものにしたいですね。もう

一つ、今回の卒業式をみんなが「初心に返る」機会にできればとも思っています。夢や希望、志を持って、大学を卒業したものの、社会に出て5年、いつしかそうした気持ちを忘れてしまった人もいると思います。卒業式で同級生や教員の方々と語り合って、初心を思い出し、「もう一回チャレンジしてみよう」「新しい道に進もう」などと、思ってもらえるきっかけにできたらと思っています。

大久保 私も同じ思います。終わるための卒業式ではなく、新たな価値を見いだせる場にしたいと思っています。卒業して5年、それぞれが社会でどう生きてきたのか、語り合える機会になつたらうれしいです。

安井 楽しいのが、一番です。大学時代の思い出に、卒業式が欠けてしまつたけれど、改めて「いい思い出になったね」と、後で思い返してもらえるような催しにしたいと思っています。何より同じ研究室の先輩や仲間など、連絡は取っていないけれど、人生のどこかでまた会えたらいなと思っていた人と会

える絶好の機会です。私自身も、卒業式をとても楽しみにしています。

丸山 同級生だけでなく、多くの教員の方々とお会いして、語り合えるのも、この機会しかありません。私は先生にお会いして、学んだことが今の仕事に生きていることを伝えたいですね。

大久保 「楽しい」「懐かしい」「感動」、そんなたくさんの感情を参加したすべての方々から引き出せる企画を考えるつもりです。皆さんが会いに来てくださるのを楽しみにお待ちしています。

安井 心から皆さんに会いたい!だからぜひ、参加してください。

Information

2019年度リュニオン卒業式については、
P18-19をご参照ください。

PROFILE

大久保 快さん／北海道出身。
大学時代は、産学協同アン
トレーナーシップ教育プロ
グラムの受講やビジネスコンテスト出場、地域
と連携してイベントを開催、
実際に起業するなど、さまざま
なことに挑戦した。現在は
ベンチャー企業・株式会社I-neで、
自社開発シャンプーの売上責任者として、プロモーショ
ンや販売に取り組む。



丸山 悠帆さん／岩手県出身。
大学では実践を通じた社会
学に注力。アメリカへの短
期留学後、留学生支援に
も力を入れた。東日本大
震災を経験して通信インフ
ラの重要性を痛感し、地域
に根差して生活インフラを提
供するJCOM株式会社に入社。



安井 朋香さん／京都府出身。
1回生からロケットサークル
(RiSA: Ritsumeikan
Space Association)に
所属し、ロケット製作に熱
中。代表として大学との交
渉役を担い、「学びのコミュ
ニティ集団形成助成金採用
団体」の認定を獲得した。ロケット
を作りたくて、ロケット開発・製造を手掛けるインターナ
テラテクノロジズ株式会社に入社。



立命館で得た自由な学びが 予測困難な時代を 生き抜く力になった。

元・文部科学事務次官
やなぎ たかし
柳 孝さん ('87法)

科学技術庁から数々の部署を歴任し、文部科学事務次官を務めた柳 孝さん。

立命館大学の自由な雰囲気の中での学びが、後のキャリアにつながったと振り返る。

自身の経験を踏まえながら、変化の激しい時代を生きる後輩たちへ、力強いエールをいただいた。

撮影：岡田 一也



学生時代の柳さん(中央)

正直に言うと、立命館大学に進学したのは、第一志望の国立大学の受験が思うようにいかず、次善の策として選んだ結果でした。しかし、そのおかげで偏差値的な学びから解放され、自由な学びを思う存分味わうことができ、かえって良かったと思っています。

大学時代は、新潟県の親元を離れて一人暮らしをし、身

も心も伸び伸びとして、非常に楽しく過ごしました。250ccのオートバイを買って、寝袋を担いで九州を一周したり、友達と一緒に1カ月間民宿に住み込みでアルバイトをしたりと、思い出は尽きません。

大学での学びも面白かったです。ゼミでは、講義を聞くだけでなく、仲間と議論する機会も多く、高校とは違う自発的な学びを味わうことができました。印象に残っているのは、「行政法」の授業です。統治する側の視点からアプローチするのが一般的ですが、立命館大学では「国民の権利を守る」という視点の講義もありました。両方の視点から学ぶことで、多角的に物事を捉える力が養われたように思います。

知識だけでなく、心と体も強くなければ、社会で力を發揮することはできません。卒業後、国家公務員としてキャリアを築けたのも、大学時代に知識に偏らず、心と体の基礎を育めたからだと思っています。

20年以上にわたり 不思議な縁でつながる仕事

1987年に科学技術庁に入庁し、最初に配属されたのは、原子力安全局原子力安全課でした。その後、半年から2



年ほどの間隔で担当部署を異動し、管理職になるまでに全ての局を経験しました。

これまで振り返り改めて面白いと思うのが、数えきれないほど多くの部署を転々としながらも、過去に自分が関わった仕事と巡り合うことが何度もあったことです。最初に担当した大仕事は、「原子力損害賠償法(原賠法)」の改正でした。まだ入庁して2年目で知識も経験も浅かったので、もう必死で勉強し、内閣法制局の参事官の審査を受けて、改正法案を作成したことを覚えています。

原賠法は1961年に制定されて以来一度も発動されないまま、長く「抜かずの宝刀」といわれていました。それが初めて適用されたのが、1999年に茨城県の核燃料加工施設で発生した、いわゆる「東海村JCO臨界事故」でした。事故を受け、すぐに原子力防災のための「原子力災害対策特別措置法」が制定されますが、くしくもその時原子力局にいた私も、法案作成に携わることになりました。この時は、庁舎に泊まり込みで、ほとんど寝る時間もなく条文作成や準備に追われ、わずか1カ月間で新法案の国会提出にこぎつけました。

制定時には、よもや「原子力災害対策特別措置法」による緊急事態宣言が出される事態が起こると、想像もしていませんでした。制定から10年以上経過した2011年、東日本大震災で現実のものとなりました。震災後、福島第一原子力発電所の事故を受け、またしても偶然、内閣官房で内閣参事官を務めていた私は、官邸でその対応に関わることになりました。原賀法の改正に関わってから20年余り、その発動や新法制定、そして新法発動まで、節目節目で重要な役割を担い、仕事にも不思議な縁があると感じています。

「運が良い」と信じる 前向きな姿勢が成功を呼ぶ

これまで原子力開発や宇宙開発といったビッグサイエンスに携わってきて、つくづく実感するのは、最先端の科学技術に関わるプロジェクトであっても、失敗は極めて初步的なところ、基本的なところから発生するということです。小さな工程確認を怠るなど、「できて当たり前」の作業を軽視したことが原因のトラブルを数多く見ました。物事がうまくいかない時、その原因はすぐ足元にある。だから、“基礎基本を大切に”そう肝に銘じてきました。



建設中のもんじゅ視察(右から二番目)

また、仕事をする上で信条としてきたことが三つあります。一つ目は、「できない理由探しをしない」こと。二つ目は、うまくいかなかった時でも、「倒れる時は、一歩でも前に倒れる」こと。そして三つ目は「役人であること」。役人とは、「役に立つ人」、そして「求められている役(割)をこなす人」だと考え、それを全うしようと努めてきました。

それ以外に大切にしていたのが、「天の時、地の利、人の和」です。成功の条件は、タイミング・ポスト・人脈を見極めること。そして“神頼み”つまり「運」です。文部科学省で宇宙担当課長を務めていた時には、ロケットの打ち上げ前には必ず同僚達と近くの神社に参拝し、成功を祈ったものです。そのおかげか、在任期間中、担当したロケットの打ち上げに失敗したことは一度もありません。

もちろんどれだけ頑張ったとしても、うまくいかないこともあります。「人事を尽くして天命を待つ」という言葉がある通り、最善を尽くしたら、あとは運任せです。運が良いと思っている人も、悪いと思っている人も、その確率は同じです。運の良し悪しは、自分の捉え方次第なのです。私はどんな時も自分のことを「運が良い」と信じてきました。そうすると、精神的に前向きになり、その結果、ミスが減ったり、チャンスをつかめたりするといった好循環が生まれるのだと思っています。

大きく変化する時代に必要なのは 自ら課題を探索・解決していく力

2005年から2020年の15年間に、世界で時価総額の高い企業トップ10の顔ぶれは、様変わりしました。2005年はエネルギー関係の企業が多くを占めていましたが、2020年には、GAFAなどのデジタル関連企業が上位を独

占しています。それだけ産業構造が変化し、社会やビジネスの環境が大きく変わる中で、求められる人材も当然変わってきます。従来は、誰から与えられた目標を効率的に達成できる人が重宝されました。しかし、未来を予測することが困難な今の時代に必要とされるのは、正解のない課題に立ち向かっていく人、自ら課題を探索し、その解決に向けて、自分で情報を集め、分析し、対処法を考えていける人です。そのためには、従来型の偏差値で測れる知識の量ではなく、その知識を昇華させて「知恵」にし、使いこなしていく、そんな「生きる力」を身に付ける必要があります。

こうした力を養うには、学びの質も転換していかなければなりません。身に付けた知識を使える「知恵」についてには、一つの専門分野だけに偏った学びではなく、広く幅広い知識といつかの専門性を身に着けることが重要です。そのためには、文理横断的な教育が必要だと思っています。ぜひ大学をはじめとした高等教育機関に、こうした教育を実践していただきたい。立命館大学では、すでに文理横断的な教育を積極的に実践していると聞いているので、期待を寄せています。

また社会の急速な変化に伴って、求められる知識やスキルも変化していく以上、学びも大学を卒業して終わりというわけにはいきません。継続的に「学び直し」をしていく必要があります。ところが世界と比べると、日本は社会人の学びに対して消極的で、OECD(経済協力開発機構)の加盟国38カ国を対象とした調査でも、日本のリカレント教育に対する評価は、平均以下であることが報告されています。

この状況を変え、「学び直し」を促進するには、「ステップアップしたい」という個人の志向を後押しするとともに、それを企業の持続的発展につながるものにすることが大切です。成功のポイントは、労働市場のニーズに的確に応えるプログラム、学びやすい環境、財政負担の軽減策、学び直しを後押しする職場環境、そして学んだことを職場で



遭遇に反映することの五つであると私は考えています。立命館大学も、魅力的な学び直しのプログラムや学びやすい環境づくりに力を発揮してほしいと思います。

私自身がここまでキャリアを積み重ねてこられたのは、大きく変化する社会環境に、常に柔軟かつポジティブに対応できたからです。立命館大学で自由な学びを通じて培った力が、それを後押ししてくれたと思っています。これからますます変化の激しい時代を生きていく学生さんや校友の皆さんも、また皆さんのが学ぶ場である立命館大学も、変化を恐れず、チャレンジし続けてほしいと願っています。

PROFILE

元・文部科学事務次官
柳 孝さん

新潟県出身。1987年、立命館大学法学部を卒業、4月、科学技術庁に入庁。原子力安全局原子力安全課から、研究開発局宇宙開発課、官房総務課などを経て、2001年、文部科学省研究振興局振興企画課長補佐に就任。2005年、外務省欧州連合日本政府代表部参事官としてベルギーに駐在。2010年、内閣官房内閣参事官、2019年、文部科学省大臣官房長、2020年、内閣府政策統括官などを経て、2022年、文部科学事務次官に就任。2023年8月、文部科学省を退官。

今夏にあるサークルの同窓会には、学生時代を思い出し、新潟から熊本までバイクで行こうと計画しています



Futurize. 立命館創立155年・学園創立125周年 記念式典・記念イベント

2025.10.18 SAT 10:00~ 開場
国立京都国際会館 入場無料・要事前申込

立命館創立155年・学園創立125周年記念式典・記念イベントを通じて、
立命館学園が、新たな価値の創造と地球規模の課題解決を通じて
未来社会を切り拓いていく決意を発信します。

お申し込み・詳細は

立命館125周年記念式典・
記念イベント特設サイト
[https://www.ritsumei.ac.jp/
125th-events/](https://www.ritsumei.ac.jp/125th-events/)



立命館創立155年・学園創立125周年 記念式典

①14:15-16:45

記念式典では、特別記念講演や、立命館大学交響楽団と著名アーティストの共演によるライブパフォーマンスとともに、立命館学園の未来に向けたメッセージを発信します。式典は Main Hall で実施するほか、国際会館会場内に配信します。



立命館の研究・探究を体感 TanQ パーク

②10:30-16:30

立命館大学、APU、附属校(探究プログラム)等が連携し、子どもから大人までどなたでも次世代研究大学・次世代探究学園を体感できる企画です。



Bridge to the Future

③11:00-14:00

校友・在学・在校生ほか、参加者が交流し、新たなつながり(ノード)をつくりだす企画。在学中特別プログラム等に参加した卒業生と在学生が参加して、若手校友・在学・在校生のノードづくりに取り組む企画です。



次世代研究大学セミナー

④13:00-13:50

立命館を代表する研究者が登壇するセミナー。宇宙開発から気候の歴史まで、立命館が取り組む最先端の研究を知っていただく企画です。



西園寺公望の思想と立命館展 in 京都

⑤10:00-17:00

9月25日(木)～10月6日(月)に東京で開催される西園寺公望展を当日は京都で開催。西園寺公望の歩みと立命館の歴史・伝統に触れていただける展示となっています。



東京開催

- 「西園寺公望の思想と立命館展」9月25日(木)～10月6日(月)[入場無料]／丸善・丸の内本店 4階ギャラリーにて開催 詳細はP5に掲載
- 記念シンポジウム 8月31日(日)／サビアタワー ※詳細は、下記「立命館125周年特設サイト」にて、ご案内予定です。

立命館125周年記念式典・
記念イベントに関する
お問い合わせ先

立命館創立125周年記念事業事務局
学校法人立命館 総務部 秘書課(涉外・ネットワーク)
TEL:075-813-8117 E-mail:r125@st.ritsumei.ac.jp(代表)



125周年記念・
関連企画はこち
立命館125周年特設サイト
[https://www.ritsumei.ac.jp/
125th-events/](https://www.ritsumei.ac.jp/125th-events/)

母校の挑戦に、あなたの想いを重ねてください。 立命館学園創立125周年 ご支援のお願い

立命館が歩んできた125年。それは、社会の変化とともに、常に未来を見つめ、挑戦を重ねてきた歴史です。校友のお一人おひとりが、母校の学びやで育まれた知性と志を胸に、今それぞれの場所で活躍していること。それこそが、立命館が築いてきた価値の証しです。

立命館は、学園創立125周年を機に「RITSUMEIKAN FOR SOCIAL IMPACT」を合言葉に、未来社会への貢献を目指す新たな挑戦を始めました。

社会を動かす知を生み出すこと。困難な時代を切り拓く力を、次世代に託すこと。

その実現には、校友の皆さまのご支援が必要です。

母校の新たな挑戦に想いを寄せていただきたく、心よりお願い申し上げます。

Social Impact基金
WEBページ



未来への3つの挑戦

- 1 | 創造的な学びを育む、新たな教育のかたちへ
- 2 | 地球規模の課題に挑む、先進研究の加速
- 3 | 学生の成長を支える、豊かな学びの場づくり



寄付者特典

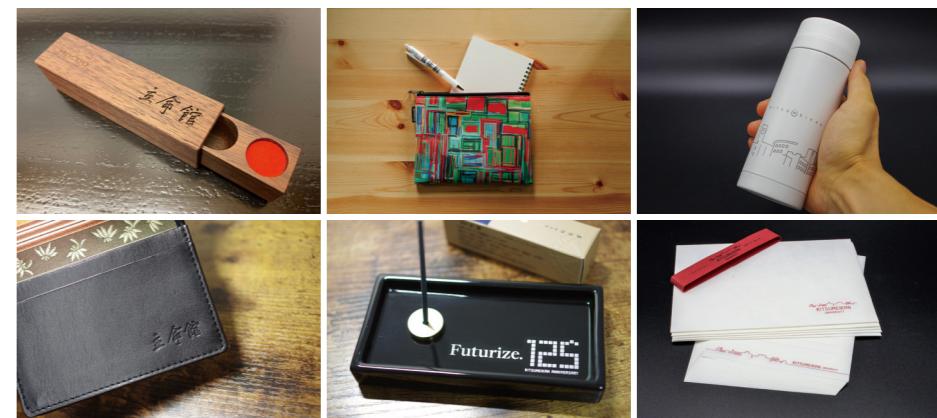
■ 銘板設置

「Social Impact基金」および「Social Impact基金」内プロジェクト(立命館大学)に、累計で一定額以上のご寄付を賜りました方々のご芳名を銘板にて永く顕彰させていただきます。

設置時期	1期 2026年夏ごろ	* 2025年度末までの寄付者対象
寄付金額	個人:10万円以上 法人・団体:50万円以上	
対象の寄付	「学園創立125周年記念事業 Social Impact基金」	
設置場所	立命館朱雀キャンパス	

■ 返礼品

学園創立125周年記念「Social Impact基金」(立命館大学)では、インターネットでお申し込みいただいた個人の方に、1回のご寄付額に応じた返礼品をご用意しています。



▶返礼品(立命館オリジナルグッズ)の詳細は、Social Impact基金WEBページをご覧ください。

「立命館へのご支援」ページをリニューアル /

125周年事業に関する寄付のほかにも、校友の皆さまに応援いただきたいさまざまな取り組みを掲載しています。未来を担う後輩たちの学びや挑戦を支える、多彩な支援のかたちを、ぜひ一度ご覧ください。



ご寄付に関する
お問い合わせ先

学校法人立命館 総務部 寄付事務局 (平日9:30~17:00)
TEL:075-813-8110 E-mail:rgiving@st.ritsumei.ac.jp



立命京菓堂

校友からの寄付を原資とする基金による支援をもとに、活動に励む学生団体の活動発表を行います。社会課題解決をはじめ、未来を志向する今の大学生の熱量に触れよう！



オール立命館 校友の集い 2025

Re:Union
つながる、語る、未来を創る

2025/10/18(土) 10:00~17:00
会場：国立京都国際会館／入場無料

同時開催

- 立命館創始155年・学園創立125周年記念式典・記念イベント
- 2019年度リュニオン卒業式・パーティー（2020年3月卒業生・修了生対象）

京都での再会

立命館の節目とともに 未来につながる出会いと体験がここに



立命館学園が創立125周年を迎える2025年。
今年も、校友が一堂に会する「オール立命館 校友の集い2025」を開催します。

会場は、立命館はじめの地である京都で、2019年に
「100周年記念オール立命館校友大会」を開催した国立京都国際会館です。

今年のテーマは、「Re:Union ～つながる、語る、未来を創る～」です。

校友との再会(Reunion)の場で、

新たなつながりや懐かしい語らいが生まれ、
さまざまな体験を通して、校友一人ひとりの「これまで」と「これから」を彩ります。



国立京都国際会館

校友ラウンジ
ウェルカムセレモニー校友ラウンジ
ウェルカムセレモニー

来場された校友の皆さまが、まずは集うことができる場所！校友の皆さまの再会の場として、そして新たな出会いの場として、つながりを楽しもう！会場が一体となるウェルカムセレモニーも開催します！



同窓会、しませんか？

国立京都国際会館の部屋を使って同窓会を開催することができます。各種準備物の運営サポートもございますので、この機会にぜひ同窓会を開きましょう！
※同窓会の募集には別途期限がございます。

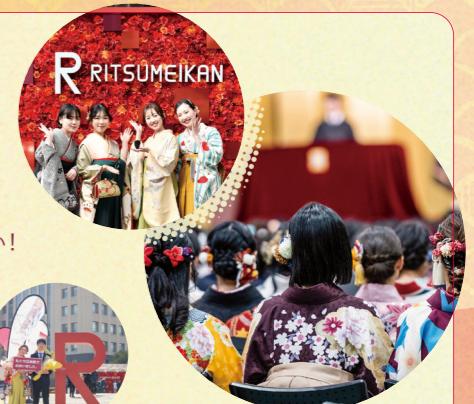


立命京菓堂



立命京酒場

京都のまちには校友が関わるたくさんのお店があるのはご存じですか？市内にある校友の関わる飲食店やお土産を楽しめる企画を開催！京都×立命館を感じ、みんなで京都のまちに飛び出そう！



＼2020年3月卒業式がなかったあなたへ！／ 2019年度リュニオン卒業式・パーティー

コロナ禍により卒業式・謝恩会が開催できなかった、2020年3月の卒業生・修了生の皆さん。
5年越しの仲間との再会を祝い、新たな一步を踏み出す場として卒業式を開催します。
スペシャルゲストも来場予定！2019年度卒業生・修了生のためだけのひと時、ぜひお越しください！

Special Guest

卒業式を盛り上げに彼らがやってくる！
お笑いコンビ「サバンナ」

八木 真澄('97産社)
高橋 茂雄('98産社)



立命館創始155年・ 学園創立125周年記念 「校友会未来人財育成基金」 特別募集

今年限定！先着400名 創立125周年限定バッジをプレゼント

1回のお申し込みで20口(20,000円)以上ご寄付いただいた方に
創立125周年限定バッジをプレゼントいたします。
詳細はP21をご覧ください。

オール立命館 校友の集い2025に
参加する場合も、
立命館125周年記念式典・
記念イベント特設サイトより
入場登録が必要です。



立命館125周年記念式典・
記念イベント特設サイト

[オール立命館 校友の集いに関するお問い合わせ先]
立命館大学校友会事務局

(学校法人立命館 総務部 校友・父母課)

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地

TEL:075-813-8216 FAX:075-813-8217

E-mail: alumni@st.ritsumei.ac.jp

URL: <https://alumni.ritsumei.jp/>



オール立命館 校友の集い
特設サイト

2025年度 立命館大学校友会幹事会報告

2025年6月7日、「2025年度 立命館大学校友会 幹事会」を朱雀キャンパスとオンラインのハイブリッド形式で開催し、約235名の校友会幹事が出席しました。

議事では、門川大作校友会会长が議長として選出された後、右記の議案が報告・審議され、活発な意見交換を経て、いずれも拍手をもって承認されました。なお、会長・副会長の選任に関する事項で会則・規則の一部変更が確認されました。議事終了後には、今回選任された新卒幹事が壇上で自己紹介を行い、会場からの温かい拍手で迎えられました。

議事会終了後の企画パートでは、「講演会・取組紹介」と「若手幹事オリエンテーション・交流会」を実施しました。「立命館創始155年・学園創立125周年記念事業立命館を創った人々～学祖 西園寺公望、創立者 中川小十郎、そして京都帝大初代学長 木下廣次の人物相関図から～」と題した講演会、「立命館学園×2025年大阪・関西万博の取組紹介」を実施。「若手幹事オリエンテーション・交流会」では、グループワークを中心に今後の活動について活発にアイデアが出され、同世代校友のネットワーク構築の機会になりました。



報告事項

- 2025年度 立命館大学校友会 役員・委員会委員等の人事について
- 立命館大学校友会 幹事の選任について
- 2025年度 立命館大学校友会 新卒幹事の選任について
- 幹事役員任期満了とともに次期幹事選任について
- 2025年度校友大会「オール立命館校友の集い2025」の開催について

議決事項

- 立命館大学校友会 会則の一部変更について
- 2024年度事業報告および2024年度決算報告について
- 2025年度事業計画案および2025年度予算案について
- 学校法人立命館評議員候補者の推挙について

2024年度決算

(単位:円)

●収支決算書(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

●経常収入の部

科 目	決 算 額
会費収入	228,600,000
資産運用収入	249,258
組織強化事業収入	100,000
校友大会事業収入	34,801
広報事業収入	25,100,000
社会貢献事業収入	0
その他の収入	33,210
経常収入合計	254,117,269
経常収支差額	33,792,429

●貸借対照表(2025年3月31日現在)

●資産の部

科 目	決 算 額
流動資産	
現金預金	234,503,527
前払金	60,120
未収金	679,393
固定資産	
定期預金	550,000,000
資産合計	785,243,040

科 目	決 算 額
流動負債	
未払金	30,908,673
預り金	109,020,000
負債合計	139,928,673

科 目	決 算 額
一般正味財産	645,314,367
正味財産合計	645,314,367
(うち当期正味財産増加額)	(33,792,429)
負債及び正味財産合計	785,243,040

2025年度予算

(単位:円)

●収支予算書(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

●経常収入の部

科 目	予 算 額
会費収入	237,270,000
資産運用収入	810,000
組織強化事業収入	100,000
校友大会事業収入	0
広報事業収入	25,100,000
社会貢献事業収入	0
その他の収入	50,000
経常収入合計	263,330,000
経常収支差額	6,420,000



立命館創始155年・学園創立125周年記念

「校友会未来人財育成基金」特別募集のご案内

2025年、立命館は創始155年・学園創立125周年を迎えました。

この節目の年にあたり、後輩の学生へ「自らの可能性をひろげ、積極的にチャレンジしてほしい」との思いを込め、「校友会未来人財育成基金」特別募集を実施いたします。

未来を拓く人財を育成する活動に、ご支援をお願いいたします。

募集期間

2025年6月1日(日)～11月30日(日)

寄付額

10口(10,000円)以上、1口(1,000円)単位でお願いいたします。

寄付者特典

※特典1はお一人様一つまで。※特典2は個人によるご寄付のみが対象です。

特典1*

創立125周年オリジナルボールペンをプレゼント

今回の特別募集にお申し込みの方全員に、創立125周年オリジナルボールペンをプレゼントいたします。



さらに! 今年限定! 先着400名!

創立125周年限定バッジをプレゼント

1回のお申し込みで20口(20,000円)以上ご寄付いただいた方に創立125周年限定バッジをプレゼントいたします。



特典2

特別募集版

WEB芳名録への掲載(希望者のみ)

特別募集にお申し込みくださった方の情報は立命館大学と立命館大学校友会で情報共有の上、同意をいただいた方には特別募集版WEB芳名録へ掲載させていただきます。

Web芳名録

Benefactors List of Ritsumeikan

ご寄付の方法(個人の場合)

クレジットカードでのご寄付

Point / 時間や場所を問わず簡単にお申し込み可能!

校友会未来人財育成基金 寄付のしかた

検索

スマートフォンからは右の二次元コードよりアクセスしてください



銀行・郵便局でのご寄付

「寄付申込書」に必要事項をご記入いただき、金融機関の窓口でお振り込みください。

税制上の優遇措置に関するご案内

立命館大学に対するご寄付は、所得税の税制上の優遇措置を受けることができます。

お問い合わせ先

[受付時間]
土日祝を除く9:30～17:00

校友会未来人財育成基金に関する
立命館大学校友会事務局
TEL: 075-813-8216

ご寄付の手続きや
税制上の優遇措置に関する
立命館 総務部 寄付事務局
TEL: 075-813-8110

ご支援の方法や学生の声は、
WEBサイトをご参照ください

校友会未来人財育成基金WEBサイト
<https://alumni.ritsumei.jp/gift/>



つながる、ひろがる 校友会

～校友会ネットワーク～



各校友会の活動や
今後のイベント予定は
校友会ホームページをご覧ください



行事報告

※2025年7月までに行われた各団体の行事の一部を紹介しています。



2025/5/10(土)
ニュージーランド校友会 交流会
Gilli Café



2025/5/14(水)
ハノイ校友会 懇親会
ハノイ市内 レストラン



2025/5/18(日)
北京校友会 交流会
北京オリンピック森林公园



2025/5/24(土)
北海道校友会 総会
ACU-A



2025/5/24(土)
東北海道校友会 総会
十勝ガーデンズホテル



日程	校友会・グループ	会場
2025/5/18(日)	奈良県北部校友会 総会	ホテル日航奈良
2025/5/18(日)	立命館スポーツフェロー 総会	ホテルグランヴィア京都
2025/5/24(土)	佐世保北観会 総会	セントラルホテル佐世保
2025/5/24(土)	奈良県校友会 西和立命会 総会	奈良県王寺町 地域交流センター
2025/5/24(土)	技術士会 総会	一般社団法人 中央電気俱楽部
2025/5/30(金)	愛媛県校友会 宇和島支部 総会	旬膳・郷土膳 和日輔
2025/6/1(日)	法学部商法塙田ゼミ OB・OG会	都ホテル 京都八条
2025/6/4(水)	高槻市役所窓立会 総会	アンシェルデ・マリアージュ
2025/6/7(土)	奈良県校友会 天理立命会 総会	田楽
2025/6/7(土)	ウリ同窓会 総会	東華菜館

日程	校友会・グループ	会場
2025/6/14(土)	兵庫県西宮支部 総会	広東料理 雅苑
2025/6/14(土)	山梨県校友会 総会	アーバンヴィラ古名屋ホテル
2025/6/27(金)	堺市役所わだつみ会 総会	PARTY & BUFFET the Villa SAKAI
2025/6/27(金)	京都建設会 総会	都ホテル 京都八条
2025/6/28(土)	山形県校友会 総会	山形国際ホテル
2025/7/5(土)	大阪校友会 校友の集い	立命館大学 大阪いばらきキャンパス
2025/7/5(土)	山口周南地区校友会 総会	ホテルサンルート徳山
2025/7/12(土)	岩手県校友会 総会	ホテルニューカリーナ
2025/7/12(土)	宮城県校友会 総会	ホテル白萩
2025/7/26(土)	青森県校友会 総会	青森市民ホール
2025/7/26(土)	徳島県校友会 総会	阿波観光ホテル
2025/7/26(土)	香川県校友会 総会	ホテルパールガーデン
2025/7/26(土)	愛媛県校友会 総会	ANAクラウンプラザ ホテル松山

※2025年5月31日時点で事務局に寄せられた情報に基づき掲載しています。

今後の行事予定

※2025年8月～11月に開催が予定されている総会等を紹介しています。

日程	校友会・グループ	会場
2025/8/22(金)	建立会 総会	新大阪江坂東急REIホテル
2025/8/23(土)	岡山県校友会 総会	アークホテル岡山
2025/8/23(土)	静岡県校友会 「Ritsしづおか 校友の集い」	クーポール会館
2025/9/6(土)	福島県校友会 総会	郡山ビューホテル アネックス
2025/9/6(土)	栃木県校友会 総会	ホテルニューイタヤ
2025/9/6(土)	熊本県校友会 「校友の集い」	鶴屋カーネーションサロン
2025/9/13(土)	秋田県校友会 総会	ANAクラウンプラザ ホテル秋田
2025/9/13(土)	新潟県校友会 「校友の集い」	ホテル イタリア軒
2025/9/17(水)	広島県校友会 総会	シェラトングランドホテル広島
2025/9/20(土)	島根県校友会 総会	サンラボーむらくも
2025/9/20(土)	長崎県校友会 総会	サンプリエール
2025/9/27(土)	埼玉県校友会 「彩の国・校友の集い」 東京キャンパス	立命館 得月楼
2025/9/27(土)	高知県校友会 総会	得月楼
2025/10/4(土)	神奈川県校友会 総会	桜木町メルヴェーユ
2025/10/5(日)	宮崎県校友会 「70周年記念 校友の集い」	シーガイア コンベンションセンター
2025/11/15(土)	滋賀県校友会 総会	オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
2025/11/15(土)	京都校友会 総会	国立京都国際会館
2025/11/15(土)	北九州校友会 「校友の集い」	リーガロイヤルホテル小倉
2025/11/8(土)	山口県校友会 総会	セントコア山口
2025/11/8(土)	沖縄県校友会 総会	ホテルオリオン 那覇
2025/11/9(日)	東京校友会 校友大会	品川プリンスホテル
2025/11/15(土)	愛知県校友会 「イヤーズミーティング」	名鉄グランドホテル
2025/11/15(土)	奈良県校友会 総会・ファミリー会	奈良県 コンベンションセンター
2025/11/15(土)	佐賀県校友会 総会	HOTELグランデはぐくれ
2025/11/15(土)	大分県校友会 総会	大分センチュリーホテル
2025/11/22(土)	千葉県校友会 40周年記念 校友大会・総会	聖徳大学
2025/11/22(土)	岐阜県校友会 総会	グランヴェール岐山
2025/11/22(土)	鹿児島県校友会 「50周年記念 校友の集い」	鹿児島サンロイヤルホテル
2025/11/29(土)	茨城県校友会 総会	水戸三の丸ホテル
2025/11/29(土)	石川県校友会 「設立75周年記念 校友の集い」	金沢ニューグランドホテル
2025/11/29(土)	福岡県校友会 「校友の集い」	オリエンタルホテル福岡 博多ステーション

※2025年5月31日時点で事務局に寄せられた情報に基づき掲載しています。

校友会
TOPICS

立命館大学落語研究会OBの桂塩鯛・桂小春團治両師匠による寄席が開催されました！

4月27日、天満天神繁昌亭(大阪府)において「第19回立命寄席」が開催されました。立命館大学落語研究会OBで、上方落語界でご活躍中の桂塩鯛・桂小春團治両師匠による「立命寄席」は今年で19回目を迎えます。対面とオンラインによるハイブリッド形式での開催で、約150名が来場し、盛会となりました。ご夫婦やご家族でご来場の校友の姿も見られ、「立命寄席」が幅広い世代に親しまれていることがうかがえました。



桂塩鯛師匠（左）、桂小春團治師匠（右）

\大学の講義がいつでも見放題／ MIRAIアーカイブス

生成AIなどに代表される革新的技術の登場、人口減少や
国際競争力の低下など日本の諸課題、緊張化する国際情勢——。

社会や経済のみならず、私たちの生き方や働き方も大きな見直しが
求められている現代。それは「学び」についても同様です。

このたび立命館は、多くの皆さまのご要望に応え、
「MIRAIアーカイブス」を開始します。

「MIRAIアーカイブス」は、総合大学ならではの幅広いアカデミックな学びを
いつでもどこでも体験できる「ポケットの中のキャンパス」。

「いまを生きるために先人の英知に学びたい」

「専門家や研究者の知見に触れたい」「未知の世界を探索したい」など、
学びを求める皆さまの期待にお応えする講義を展開します。



大学の講義が
200本以上
見放題！

For Life、
For Biz、For Eduで
分類しているので
あなたに合った
講義が選べる！

お試し期間
最大
31日間！
さらに
立命館大学在学生、
校友の方は
1ヶ月
期間延長特典！

月額利用料
1,280円
(税込)

MIRAIアーカイブス お試し視聴講義ラインナップ

For Life
人生を楽しむ
知を学ぶ



For Biz
仕事に役立つ
ナレッジを学ぶ

For Edu
未来を
育む



MIRAIアーカイブス視聴開始までの流れ

ポケットの中
の
キャンパス！
MIRAIアーカイブスを
始める

初めての方
会員登録

MIRAI
会員の方
マイページ
ログイン

MIRAI
アーカイブス
申し込み

Let's TRY!
まずは
お試し視聴から



「MIRAIアーカイブス」では、過去の立命館オンラインセミナーなどのアーカイブス(オリジナル講義含む)200本以上を常時ご視聴いただけます。

学生の活躍

[2025 MARCH~MAY]

最新情報は
こちらを
チェック！



SPORTS

女子陸上競技部、馬術部

3月3日、一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)が、大学
スポーツ振興に大きな成果を残したアスリートやスポーツに関わる
学生・団体を表彰する「UNIVAS AWARDS 2024-25」の表
彰式を、品川インテリシティホール(東京都)で開催。女子陸上競
技部 山本亜美選手('25 スポ健)がウォーマン・オブ・ザ・イヤー入
賞、馬術部 福岡ゆきは選手(映像2)がルーキー・オブ・ザ・イヤー入
賞の栄冠に輝きました。

軟式野球部

3月25日に開幕した「2025年度関西六大学軟式野球連盟
春季リーグ戦」で、軟式野球部が見事優勝。全国大会への出場
が決定しました。

女子陸上競技部、男子陸上競技部

4月4日にヤンマーフィールド長居(大阪府)で「第102回関西
学生陸上競技対校選手権大会(関西インカレ)」ロードの部が、5
月4~7日にヤンマースタジアム長居にて関西インカレ・トラック
&フィールドの部がそれぞれ開催され、女子陸上競技部が総合得
点149.5点で4年連続12回目の総合優勝を飾りました。また、
男子陸上競技部も白熱のレースを繰り広げ、総合2位で惜しくも
準優勝となりました。

フェンシング部

4月25~27日、駒沢オリンピック公園総合運動場(東京都)
にて「第6回日本学生フェンシング・カップ」が開催され、フェンシ
ング部の谷口真麻選手(法3)が、女子サーブル個人で準優勝に
輝きました。

学生の活躍

[2025 MARCH~MAY]

最新情報は
こちらを
チェック!

日本初 Adobe Student Ambassadorに立命館大学・APUの20名が認定

2024年12月23日、大阪いばらきキャンパスで、日本初の「Adobe Student Ambassadors」が発表され、立命館大学から10名、立命館アジア太平洋大学(APU)から10名が認定されました。同アンバサダーは、アドビのソフトウェアやテクノロジーを活用したアクティビティに取り組み、そのスキルを学園に還元する存在としてアドビが認定するものです。今回、非英語圏の大学で初の認定となりました。

①

テーマ・SX研究開発拠点(課題名:月面探査・利用を産業化するための宇宙機器開発・人材育成拠点)に採択されました。立命館大学宇宙地球探査研究センター(ESEC)を基盤に、月・火星面を再現した研究環境と、月面開発のための探査・調査技術の開発に取り組んでいます。

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に採択

2025年1月24日、文部科学省の令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に、立命館大学の「リアル・バーチャル時代のウェルビーイングと公正な社会を実現する新領域『身体圏』研究拠点」が採択されたことが発表されました。「R2030 立命館大学チャレンジ・デザイン」の実現に向け、本学の強みであるスポーツ健康科学を核に「身体圏」という新学術領域の創生に挑戦します。

宇宙戦略基金事業の拠点に採択

月・火星開発・探査・調査技術の開発に挑む

1月31日、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が公募する令和6年度「宇宙戦略基金事業」において、「技術開発

2024年度立命館大学卒業式・大学院学位授与式を挙行

3月20日に大阪いばらきキャンパスと朱雀キャンパス、3月21日に衣笠キャンパス、3月22日にびわこ・くさつキャンパスにて、2024年度立命館大学卒業式・大学院学位授与式を挙行。7,219名の学部生および1,333名の大学院生が新たな進路へと歩み出しました。仲谷善雄立命館大学長が卒業証書・学位記を授与。門川大作立命館大学校友会会长が臨席し、卒業生・修了生の門出を祝いました。

立命館とJAXAが連携協定を締結 共に月面探査の検討・普及に取り組む

3月27日、学校法人立命館は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の有人宇宙技術部門と、有人与圧ローバーの研究開発および月面探査の検討・普及に関する連携協定を締結しました。本協定に基づき、共同で有人与圧ローバーの探査性能向上を目指していきます。これを機に月面探査の実現に向けた協力を深め、技術開発の他、月面探査に係る研究活動の普及にも寄与していきます。

最新情報は
こちらを
チェック!



立命館大学の研究者が文部科学大臣表彰を受賞

4月8日、文部科学省が発表した令和7年度科学技術分野の「文部科学大臣表彰」において、国際関係研究科の越智萌准教授、生命科学部の竹俣直道准教授、総合科学技術研究機構の元村一基准教授が、「若手科学者賞」を受賞しました。科学技術分野において、萌芽的な研究、独創的な視点に立った研究で、高度な研究開発能力を示す顕著な業績を挙げたとして、3名が贈賞されました。

「KINUGASA Redesign Project」開始 記念セレモニーを開催

4月21日、北野天満宮・紅梅殿にて、「KINUGASA Redesign Project」始動を宣言する記念セレモニーを開催しました。同プロジェクトは、衣笠エリアを世界に誇るアートヴィレッジとして、京都市や衣笠近郊の社寺、美術館などとともに、世界に向けて発信することを目指しています。立命館はその中核を担い、地域と連携して衣笠の新たな魅力や価値を創出していく予定です。

RITSUMEIKAN GOODS

立命館のロゴ入り公式グッズのご案内

立命館オリジナルボールペン・ノートブック with HERALBONY



障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指す「ヘラルボニー」とのコラボグッズです。独創的なアート作品に、「RITSUMEIKAN」の文字が入ったオリジナルデザインです。

(左)立命館オリジナルボールペン with HERALBONY 4種 各990円(税込)
(右)立命館オリジナルノートブック with HERALBONY 2種 各715円(税込)

ユナイテッドアローズ 立命館学園創立125周年記念 オリジナルグッズ

日本のファッショングループをけん引する企業として、伝統と革新を融合させながら、個性を尊重するライフスタイルの提案を行うユナイテッドアローズとのコラボグッズです。



(左)Tシャツ 5,500円(税込)
きめ細かく滑らかな肌触りが心地よい6.3オンスのTシャツ。毛羽が少なくクリアなプリントも特長です。さまざまな国や地域から学生が集うことをイメージし、マルチカラーでタグラインロゴを表現しました。

(中央)ハンドタオル 1,320円(税込)
立命館のスクールカラーのえんじをベースに、今治で織りあげたタオル。モノグラム状に配置した「Futurize.」をジャガードで表現。しっかりと目が詰まった織りのタオルは、普段使いにもちょっとしたギフトにも最適です。

(右)ソックス 1,430円(税込)
「Futurize.」のロゴを爪先に編みで入れ込んだソックス。履き口の裏に「RITSUMEIKAN」ロゴを施し、折り返すと見えるといったデザイン性をプラスしました。足底はパイル仕様で快適な履き心地に。立命館のスクールカラーのえんじと「ユナイテッドアローズ」のブランドベースカラーもアクセント。左右で色が異なる遊び心のある仕様です。

購入方法

立命館大学各キャンパスの生協ショップならびにオンラインショップ(<https://creohuman.square.site/>)にてご購入いただけます。

※上記グッズの他にも、125周年を記念してたくさんの立命館オリジナルグッズを販売しています。





叙勲

■旭日中綬章
中村正典氏('74法)
元日本弁護士連合会副会長
■瑞宝中綬章
山下晃正氏('75理工)
元京都府副知事
■旭日小綬章
鈴木昌治氏('77経営)
元日本公認会計士協会副会長
■瑞宝小綬章
岩井保善氏('70院理工)
奈良工業高等専門学校名誉教授
高橋修氏('73法)
元京都市会計管理者
小佐井國久氏('76法)
元独立行政法人造幣局
総務部人事課長
杉澤慎一氏('76法)
元神戸地方検察庁事務局長
大引和也氏('76経営)
元岐阜北税務署長
永井眞一氏('77法)
元広島地方裁判所民事首席書記官
石橋基志氏('77経済)
元下京税務署長
幸田勇二氏('77理工)
元国土交通省港湾局
技術企画課事業監理官
國澤典生氏('78法)
元国土交通省道路局
路政課道路利用分析官
谷口勝司氏('78法)
元名古屋税局調査部長
山下雄嗣氏('78法)
元大阪国税局徴収部長

一戸公俊氏('78産社)
元四国地方整備局用地部長
■瑞宝双光章
矢野悦生氏('76経営)
熊本県食肉生活衛生同業組合
理事長
■瑞宝双光章
加藤孝高氏('67文)
元民生・児童委員
岡本喜八氏('72法)
元京都市東山消防団団長
富士原要一氏('73経営)
特別養護老人ホーム「美松苑」
施設長
廣瀬義喜氏('74法)
元四国運輸局高知運輸支局長
梅田鉄也氏('75経営)
元岐阜行政評議事務所長
吉田精華氏('75理工)
保護司
岡田憲二氏('76法)
元中国地方整備局広報広聴対策官
大西博氏('77理工)
元近畿地方整備局企画部
技術調整管理官
渡邊正文氏('78法)
元中部運輸局鉄道部長
森銳一氏('80法)
元愛知県産業労働部労政局長
鵜養幸雄氏(教職員校友)
元人事院事務総局
公務員研修所教授
■旭日单光章
木村長門氏('77経済)
元株式会社木の屋石巻水産社長

■瑞宝单光章
東克美氏('75理工)
元兵庫県警部補

高齢者叙勲

■瑞宝小綬章
佐藤東士良氏('59理工)
元公立高等学校長(新潟県)
■瑞宝双光章
市川寛氏('62法)
元京都府北府税務所長

危険業務従事者叙勲

■瑞宝双光章
畠中達夫氏('74経営)
元福岡県警視
■瑞宝单光章
波多野治氏('74経営)
元岡山県警部
吉田精華氏('75理工)
保護司
岡田憲二氏('76法)
元中国地方整備局広報広聴対策官
大西博氏('77理工)
元近畿地方整備局企画部
技術調整管理官
渡邊正文氏('78法)
元中部運輸局鉄道部長
森銳一氏('80法)
元愛知県産業労働部労政局長
鵜養幸雄氏(教職員校友)
元人事院事務総局
公務員研修所教授
■旭日单光章
木村長門氏('77経済)
元株式会社木の屋石巻水産社長

宮地誠氏('86理工)
株式会社ナカボーテック
代表取締役社長
前田文男氏('88経営)
日本ハム株式会社取締役副社長
阪口広一氏('88経営)
株式会社池田泉州ホールディングス
取締役代表執行役社長
熊野祥一氏('89経営)
株式会社アイ・ユー・ケイ
代表取締役社長
有木浩氏('89経営)
香川銀行取締役頭取
仲村直樹氏('89産社)
ザ・パック株式会社
代表取締役社長
平林卓氏('92経営)
日本システム技術株式会社
代表取締役社長執行役員
水谷武夫氏('83経営)
元名古屋市消防監

当選

横川真澄氏('95理工)
岐阜県海津市市長選挙

訃報

大河純夫氏
立命館大学名誉教授(法学部)

BOOKS (ご著書のご寄贈)

校友会へご寄贈いただきましたご著書の中から一部をご紹介します。

◆大隅紀和氏('63理工)著
『京に残した忘れ物』
京のいたずらっ子、世界を駆ける 教育協力専門家・半生記
株式会社文藝春秋企画出版部 1,980円(税込)

◆坂根政男氏('79理工)著
『機械工学テキストライブラリ=自動車づくりの例で学ぶ 機械工学概論』
株式会社数理工学社 1,980円(税込)

◆丸山彩氏('10院文)著
『夢を追いかけて 音楽を学んだ明治女性・岩原愛の生涯』
株式会社文藝社 1,540円(税込)

本会報が校友の手元に届く頃は、大阪・関西万博の真っ盛りで、既に訪れた校友もたくさんいることと思います。私も地元大阪での開催なので、家族総出で行くつもりです。さて、私の楽しみは、なんと言つても、日本館の「火星の石」と米国パビリオンに今回も登場する「月の石」とを見比べることです。1970年の大阪万博では、アプロ12号が月から持ち帰った「月の石」が大きな話題となり、長蛇の列の中、何度も見に行つた記憶があります。今回の「火星の石」は火星から飛来した隕石で、2000年に南極観測隊が発見した世界最大級という代物です。含まれている鉱物から、火星にも水が存在していたことが分かるそうです。やはり、宇宙は夢と浪漫の宝庫なんですね!

(N)

編集室から

6月1日、「衣笠アートヴィレッジ フェスティバル」が開催されました。母校創立125周年、またデザイン・アート学部(仮称)の新設を記念し、アートをテーマにゲストや校友をお招きし、多くの学生の参画により盛大な催しとなりました。新入生企画「FRESH ART」では創作アートや看板の制作、模擬店の出店が、文化・芸術系団体による「学生アートヴィレッジ」ではステージ・展示・体験企画が行われ、どれも大変なにぎわいでした。学生の文化・芸術活動はとても盛んで、多くの校友がアート分野で活躍されています。そんなアート分野で活躍されている校友の皆さん、新学部開設を機に集まりませんか?

(曾谷直樹)

先日、大阪・関西万博の大屋根リングを設計された建築家 藤本壯介さんのお話を聴きする機会を得ました。万博の意義・歴史、そして現代的意味を深く読み解かれ、その価値を再定義されました。世界が危機になればなるほど、1ヵ所に参集する価値とは…そして、建築は人が集まる場を創る。希望を提案し、世界が集まる場を創り、発信・伝達する場を創ると。深く共感するお話をでした。加えて、大規模木造建築物へのチャレンジという世界的潮流に対し日本の木造建築の存在感を訴求すること。私はこれから大阪・関西万博に複数回行く予定ですが、立命館の万博への取り組みの見学も含めて、未来の希望と平和を存分に感じてみたいと思います。

(奥野)

いま万博真っ盛りなので、あえて別の話題を。私は昨年から大阪いばらきキャンパスで教壇に立っています。1980年代に衣笠キャンパスで4年間を過ごした身としては、当時とまるで様変わりしたように感じます。校舎はゆったりとし、広い廊下にはソファが備え付けられており、教室にはパソコンとモニターが常設。出欠もレポートの提出も専用ソフトに入力する授業支援システムで行います。このように最新の設備が備わっているのですが、左右に大型モニターが設置されている教室の真正面は、なんと上下2段切り換え式の「黒板」なのです。ここだけポツカリと「昭和」が残っていてうれしくなります。チョークの書き味は抜群ですが、消すのが少々苦労します。暑さも本番ですので、皆さまどうぞ自愛ください。

(西村仁)

海外在住の皆さまへ

2025年冬号より
会報「りつめい」はデジタル版に移行します

立命館大学校友会では、皆さんに確実に会報「りつめい」をお届けするため、2025年冬号(298号)より、海外へのお届けを郵送からデジタル版での配信に移行いたします。

デジタル版は、会報「りつめい」発行ごとに閲覧用のURLとパスワードをメールでお知らせします。この移行に伴い、2025年冬号(第298号)以降、海外在住の方への紙媒体の郵送は終了いたします。何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

<デジタル版のお届けにあたって>

デジタル版は以下の条件を満たす方へお届けします。

会報送付対象の方(校友会費を納入されている方)で、

立命館大学校友会に「海外の住所」と「現住所メールアドレス」を登録されている海外在住の方

※「現住所メールアドレス」のご登録がない場合、会報のお届けはございません。この機会にメールアドレスのご登録をお願いします。

ご住所やメールアドレスの登録・変更について

ご住所やメールアドレスの登録・変更は、立命館大学校友会WEBサイトよりお手続きください。

※すでにデジタル版をご登録済みの方は、お手続き不要です。

立命館大学校友会 ▶ 各種手続き ▶ ご連絡先変更



立命館大学国際平和ミュージアムのご案内

2025年度ギャラリー企画展

原爆棄民—韓国・朝鮮人被爆者の証言

2025年7月19日(土)~8月9日(土)

会場:アカデマイア立命21 1階 企画展示室

大和楓個展

「Sitting in the Time: シッティング・イン・ザ・タイム」

2025年8月19日(火)~9月9日(火)

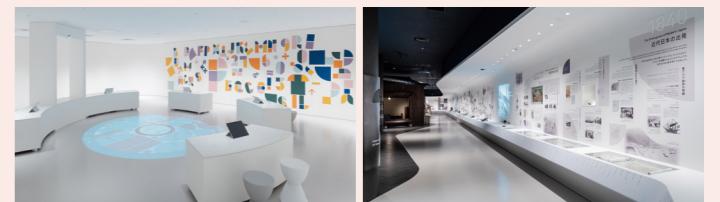
会場:アカデマイア立命21 1階 企画展示室

祈りの森—戦時下の音風景とアートでつなぐ声・語り

2025年10月6日(月)~25日(土)

会場:アカデマイア立命21 1階 企画展示室

「戦争の記憶を共有する」「平和創造の場となる」「平和創造を支える調査研究活動の拠点となる」を基本コンセプトに、2023年9月23日にリニューアルオープンしました。



リニューアルのポイント(常設展示室)

POINT. 1

展示室の周囲を年表展示で囲み、展示室の中心にテーマ展示を設けました。年表展示とテーマ展示を往復することにより、学習を深めることができます。

POINT. 2

見学を通して、歴史の中の多様な課題から、現代の諸課題につながる流れをくみ取ることで、「平和」を身近なテーマとして捉えられるような構成にしています。

開館時間 午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日

日曜日および祝日の翌日(日曜日が祝日の場合は開館、翌日が休館)、年末年始、夏期休暇中の大学が定める日

見学料(入館料) 一般400円/中学生・高校生300円/小学生200円 障害者手帳、被爆者健康手帳、戦傷病者手帳をお持ちの方(介助者1名を含む)は無料

*校友の皆さまは右下の校友招待券を受付に提示、または校友申請手続きで無料となります。

立命館大学 国際平和ミュージアム

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899 URL https://rwp-museum.jp/